

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年7月20日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670900184
法人名	有限会社 めぐみ福祉会
事業所名	大口めぐみの里
所在地	鹿児島県伊佐市大口曾木480番地 (電話) 0995-25-2323
自己評価作成日	平成29年6月6日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年6月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

1. 家庭的な環境と地域との交流のもとで自由なやすらぎと憩いの場を提供します。
2. 個人の尊厳を失うことなく自立を手助けします。
3. 満足と生きがいを持っていただけるよう努めます。
4. 職員一人ひとりが認知症ケアについて日々学びの姿勢を忘れず、研修にも積極的の参加し、ケアに活かしています。
5. 毎朝朝礼で『介護理念』を唱和し理念に基づいた介護に取り組んでいます。
6. 利用者の居室、共用の場所、園内すべての空間の清掃、環境整備に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは、広い敷地の中に平屋の2棟が建てられている。母体法人が運営する道路向かいの有料老人ホームの施設を利用して合同で行事を行う等で、日常的に利用者間の交流があり職員の協力関係も築かれている。
- ・自治会に加入し地域の清掃活動に参加したり小学校の運動会を住民と一緒に開催するなど、地域の一員として地域活動に取り組んでいる。
- 法人の敬老会やクリスマス会には住民参加もあり積極的に地域との交流に取り組んでいる。
- ・代表者・管理者は職員が意見等を出しやすい雰囲気作りに努め、出された職員の提案は試行期間を設けて実施してみる等、ホームの運営やサービスの向上に前向きに取り組んでいる。
- ・火災・水害の避難訓練を年2回それぞれ実施している。火災訓練は消防署や住民の参加協力を得て行い、水害避難訓練では避難所まで利用者を搬送している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝の朝礼で理念を唱和し、一日の目標を掲げ理念をケアに反映できるように心がけている。	理念を中心に朝のミーティングで職員が交代でリーダーとなり理念に基づいた一日の目標を発表し、夕方に一日を振り返り目標に対して評価を行い、支援している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会へ加入し敬老会、クリスマス会には近隣の方をお招きして地域とのつながりを持てるように努めている。また、年に一回曾木小学校の児童が来園し、運動会やレクリエーションを通じて交流を深めている。	自治会に加入し、清掃活動や小学校の運動会への参加協力等、地域の一員として活動している。法人のクリスマス会や敬老会には住民の参加があり、近隣から野菜の差し入れもある。毎年、小学生の来訪もあり、地域との交流に継続して取り組んでいる。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	人材育成に貢献するため、実習生の受け入れを積極的に行っている。地域の方が介護についての悩みや質問に来られることもあり、相談する場所にもなっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回運営推進会議を開催しており、市の職員、自治会の方、警察官、ご家族に参加を頂き、事業所での取り組みや行事報告、実際に利用者様と同じ食事を試食して頂き、意見や感想を出してもらいサービスの向上に活かしている。	定期的に運営推進会議を行い、事業所で行なわれる行事や職員の移動・日常の食事について話し合ったり、出席者からの情報や意見などを取りまとめてサービス向上に活かしている。行政から地域の地形マップを貰って避難について話し合い、災害訓練に活用している。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議のメンバーに加入してもらい、事業所の実情を知って頂き、それに応じたアドバイスをもらいながら協力関係を築いている。制度上不明な点も直接市役所に相談したり、電話で相談したりと連携を密にとっている。	市の担当者とは窓口へ出向いたり電話で相談等を行い連携を図っている。市主催の医療連携会議や研修会に積極的に参加し、災害や接遇などについて話し合い、情報収集や意見交換に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束についてミーティング等で定期的に学びを深め、身体拘束を行わないためには、利用者様にどのようなケアや接し方をすればよいかを理解し、日々の振り返りや工夫を行うことで身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	マニュアルを作成しており、年2回の研修では身体拘束についてスピーチロック・ドラック・フィジカルロックなどを繰り返して事例を出して確認をしている。日中は玄関の施錠はせず外に出て行く利用者には職員が目配りで連携し、付き添って敷地内散歩等で対応し、制限のない生活ができるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ミーティングや勉強会で虐待についての学びを深め、実際に不適切なケアについて職員間で話し合ったり、確認をとりながら虐待をお互いに見逃さないように努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	事業所内で権利擁護についての研修を行い、学ぶ機会を設けている。対応が必要なご利用者様がいらっしゃる場合は関係者で話し合う場を持ち対応できる様支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に本人、ご家族の要望を聞きながら、大口知めぐみの里で行えることを説明し、十分に理解と納得して頂いてから契約を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者様との日々の会話の中で意見や要望が出しやすい雰囲気作りを行っている。またご家族にも面会時や家族会等で気軽に意見を出してもらえるように声掛けを行っている。	利用者には日常の生活の中で聞き取りをして思いを把握している。家族の面会が多く、面会時には近況報告等で声をかけ、要望を出しやすい雰囲気作りに努めている。1ヶ月の状態が解るよう日常生活を手紙に書いたり、毎月発行の「便り」や写真を送っている。意見や要望は運営に活かすようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>代表者や管理者は月1回開催されている各棟のミーティングへ参加し、職員から備品の購入や行事開催、業務内容の改善等意見に耳を傾け反映させている。</p>	<p>代表者及び管理者は、ユニット毎のミーティングで職員の意見を聞く機会を設けている。職員の提案を受け、備品の購入や入浴支援等について研鑽している。個別相談は日常的に管理者が受けて対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>勤務表作成時に職員の都合や休みを希望する日を聞き取り、家庭と仕事が両立できるように配慮している。資格取得時には雇用契約を見直し資格に応じた昇給が行われている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修は主にミーティング開催時に、管理者や外部研修に参加した職員が研修資料資料を基に報告、発表を行い、職員間で学びを共有できるようにしている。研修テーマは職員から「このことについて学びたい。」という意見が出ることもあり、希望や季節に応じたテーマを選んでいる。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>県や始良伊佐GH協会に加入しており、職員交流のための研修会などもあり参加している。その中で親睦を深め、情報交換等を行い施設内でのサービス向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所に際して、これまでの生活状況を把握し、ご本人様の求めている事や、不安を取り除ける様努め、信頼関係の構築につなげている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族とも施設施設見学時や初回相談時に面談を行い、悩み事やグループホームでの生活に対する希望等を聞き取り、事業所として対応できるかをご家族と話し合いながら安心して入所につなげられるような関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご利用者様が入所される前に情報、状況が分かっている場合はミーティングで事前に話し合い必要とされる支援について話し合い、それに応じたコミュニケーションや対応を行うことで不安を取り除きや満足感のある生活を送って頂ける様努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様が得意な事を生かして職員と共にイキイキとした生活が送れるように、お互いが支えあえる環境づくりを工夫して良好な人間関係が構築できている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族が面会に来られた際はグループホームでの生活の様子や、レクリエーション活動でのぬり絵や制作物を見てもらうなどしている。また、遠方で面会が困難なご家族のために、月1回お手紙で近況報告を行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人や近所の方の面会を受け入れ、なじみの美容院や、これまで通院していたかかりつけ医への継続等本人様が築いてこられた関係を途切れさせないよう支援している。	元居住地の地域行事やかかりつけ医の受診に同行したり、家族の面会や有料老人ホームの知人との相互訪問、自宅に職員と一緒に出かけている。家族の協力を得て馴染みの理美容室の利用や墓参り等、これまでの生活や関係を継続できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が利用者様同士の関係性をしっかりと把握し、気の合う方と座席を近くに配置したり、レクリエーションへの参加を促したりして楽しい雰囲気の中で過ごして頂ける様配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院の為退所される時や、他の施設に移られる場合はめぐみの里での情報提供を行い、協力が出来るように努めている。ご利用者様のサービス利用が終了した後も、ご家族が施設内でのイベントに参加をしてくださることもある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様との日々の会話の中からお一人お一人の気持ちを汲み取り、職員間で情報を共有して生活の中に意向や希望を反映させていけるよう心がけている。	日常の会話の中から本人の思いを把握するように努めており、利用者の言葉をそのまま記録して職員全員が正確に把握できるようにしている。意思疎通が困難な場合は家族や関係者からの情報を聞き、本人の思いに寄り添い支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人様やご家族からこれまでの生活歴、趣味、嗜好を聞き取り、グループホームでの生活に取り入れながら継続できるように支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様個々の生活リズムを把握し、スタッフ間でミーティングを行い、異常の早期発見や生活を見直す機会を設けている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員が日頃のかかわりの中でご利用者様やご家族から出た、思いや言葉を大切にして、利用者様の望まれる生活に近づける様、主治医の意見やミーティング等でアイデアを出し合い、介護計画へ反映させている。	利用者・家族の要望を出してもらい、要望等に基づいてミーティングで検討し介護計画を作成している。モニタリングを3ヶ月に1回実施し、介護計画は1年毎に行い、状況変化時はその都度見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日個人別の記録に日々気づいた事やその方の言葉、行動を記載し、職員間で情報が共有できるようにしている。その記録を基に計画の評価、見直しを行っている。また、記録とは別途申し送りノートを活用し、出勤間隔の空いた職員でもすぐに問題点が確認できる取り組みを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人様やご家族の状況を常に把握しており、遠方のご家族が帰省された際は自宅に外泊されたり、ご家族の体調が悪い時にはご利用者様の受診付き添いを代行したりと柔軟なサービスが提供できるよう取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地元ボランティアによるハーモニカや踊り、太鼓の慰問活動を受け入れ生活の中に刺激や楽しみを持てるように協力を頂いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	これまで診察を受けていたかかりつけ医の診察が受けられるよう、利用者様のグループホームでの状態を主治医に報告し、適切な医療が受けられる支援体制を整えている。また、夜間や急変時等も主治医や協力医の指示が受けられるようになっている。	本人・家族の希望するかかりつけ医に職員が同行しホームでの状況等を伝え、受診している。かかりつけ医による訪問診療の利用者もいる。常勤の看護師がいるので主治医・協力医の基に医療連携を日常から心がけている。緊急時はホームの看護師とかかりつけ医や協力医の協力体制を敷いており、適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>常勤の看護師を配置しており、介護職員は急変時や異常を感じた時は、速やかに看護師へ状態報告し、必要時はすぐに受診が行えるように努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には基本情報に加え、既往歴やADLの状態等の情報を病院へ速やかに提供し、適切な治療を受けられるよう支援している。また入院時も定期的に病院を訪問して医師や看護師と相談しながら早期退院が出来るよう支援している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時に重度化や見取りについての説明を行っている。本人様やご家族の意向を大切に主として主治医と相談しながら、可能な限りグループホームでの生活が送れる様職員が一丸となつて取り組んでいる。</p>	<p>契約時に重度化等の場合にホームの対応について説明している。状況変化時に再度説明し、家族の意向を確認しながら、意向に沿って最大限のケアに取り組んでいる。かかりつけ医及び家族の協力等により看取りの事例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変や事故に備えマニュアルが作成しており、緊急時に職員が落ち着いて対応できる様施設内の目につきやすい場所にマニュアルが掲示してある。事故発生時の初期対応は職員全員が対応できる様定期的に訓練や対応を管理者が指導している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災、水害を想定した避難訓練を各年2回行っている。消防署や自治会の協力をもらいながら、へ避難経路の確認や消火訓練も行っている。</p>	<p>火災・水害の避難訓練を年2回それぞれ実施している。火災訓練は消防署や住民の参加協力を得て行い、水害避難訓練では避難所まで利用者を搬送している。緊急自動通報装置に地域住民も登録している。非常用の水や米・菓子を用意している。いつでも対処できるように予告なしの訓練も実施している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>職員はご利用者様の尊厳を大切にしてプライドを傷つける事が無い言葉かけや、行動を心がけている。排泄や入浴時にはプライバシーに配慮した対応を行っている。</p>	<p>研修会で「常に自分がされて嫌なことはしない」という考えを基本に人格の尊重やプライバシーに配慮し、支援している。入室時のノックや声かけの気配りを行い、排泄・入浴介助はプライバシーや羞恥心に配慮した支援を行っている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>難聴の方には筆談をするなど、利用者に応じて対応を工夫し、自分の思いや自己決定がしやすいよう心がけている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本的な一日の流れはあるが、ご利用者様の体調や気分に応じて、休息やテレビ、歌や散歩等をご自分のペースで行えるよう支援している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>本人様の希望される美容師に訪問散髪してもらったり、本人様の整容へのこだわりを理解し、必要な品物の買い物を代行するなどの支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>職員と利用者様が一緒にテーブルを囲み、楽しい気分で食事が出来るよう配慮している。また、食欲を高めるために、どのような場面で食欲が湧くかを把握しケアに活かしている。</p>	<p>厨房からの配食を受け、ホームで盛り付けを行い、個々に応じた食事形態で代替品を提供している。職員と一緒になごやかに食事を摂っている。恵方巻きなどの行事食は自分達で手作りして楽しんでいる。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>アレルギー等に配慮しながら栄養バランスのとれた食事を専門の調理師が作り、食事摂取量のチェックや水分制限のある方は、コップに目盛りをつけなどして正確な量を摂取できる様工夫している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>食後は必ず口腔ケアを行うように利用者様に声掛けを行っている。ご自分で口腔ケアが困難な場合は介助を行い、口腔内の清潔が保たれるように努めている。夜間は義歯を義歯洗浄剤につけ込み義歯の清潔にも配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中はオムツ使用せずにリハビリパンツを使用し、利用者様ごとに排泄パターンを把握し、時間ごとにトイレ誘導を行い、トイレで気持ちのよい排泄が出来るよう支援している。	個々の排泄パターンを把握し、日中は布パンツやリハビリパンツを使用してトイレでの排泄を支援している。夜間は個々の身体状況等を考慮して、ポータブルトイレやオムツも使用し負担のないようにしている。排泄がスムーズにできるようにヨーグルトや牛乳・水分補給にも心がけている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便を促すため、定期的に歩行を行う時間を設けている。また、十分な水分補給を行ったり、水分摂取を積極的にされない利用者様の好みに合わせてヤクルト、牛乳、ポカリスエットなどを飲んで頂き排便が促されるための取り組みもおこなっている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴曜日と時間は決まっているが、利用者様の体調や気分によって曜日変更や時間を変更している。	週3回午前中の中の入浴を基本にしているが、希望によりいつでも入浴できるようにしている。2号棟は毎日の入浴を試行中である。入浴を楽しんでもらえるようにゆず湯なども取り入れ、嫌がる場合は無理強いせずに時間をづらしたり翌日に声をかけている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している	ご本人様の体調に合わせて日中 でも仮眠をとって頂いたり、夜 間もご自分のタイミングで就寝 出来るように支援している。ま た、夜間心地よい睡眠がとれる 様、日中の活動を活発に行うよ うに支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状 の変化の確認に努めている	利用者様の薬の効能、副作用の 説明書をファイルにて個別に管 理し、職員が分かりやすいよう にしている。また、個人ボード に朝、昼、夕と薬を個別に貼り 付け他者と誤薬が起こらない様 工夫をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ご せるように、一人ひとりの生活 暦や力を活かした役割、嗜好品 、楽しみごと、気分転換等の支 援をしている	洗濯物をたたんで頂いたり、食 台を拭いて頂いたり、得意分野 でひとりひとりの力を発揮でき るように職員は普段からご利用 者様の言動に耳を傾け適正を把 握するようにしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう に支援に努めている。また、普 段は行けないような場所でも、 本人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるよう支援している。	自宅の近いご利用者様はご家 族の支援で車イスで自宅まで散 歩をかねて外出したり、お墓参 りに行かれることもある。また、 花見や紅葉狩り、イルミネー ション見学等季節感を味わえる 外出活動の支援も行っている。	日常的にウッドデッキでの日光 浴や敷地内の散歩を実施して いる。年間計画で季節の花見や イルミネーション・鯉のぼり見 物などで外出している。家族の 協力で墓参りや外食等での外出 ・外泊もあり、できるだけ出か けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族の協力を得て少額のお金を持っておられる方もいる。直接的にお金を使える機会は移動パン屋くらいであるが、ご自分のお誕生日ケーキを職員に購入を代行してもらう等の金銭を使う事への支援も行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族や親せきの方へ電話を掛けたり、年賀状や暑中見舞い等のお便りを出して大切な方との関りを持てるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関周辺やホールに季節の花を飾ったり、利用者様個人の制作物を展示する場所を作ったりして、楽しみや心地よい空間が提供できる様支援している。毎朝の清掃では尿臭や便臭といった不快な臭いがホーム内に感じられないよう徹底して行っている。</p>	<p>季節の花や作品が飾られたホールは採光・室温等が調整され、ソファも配置されている。2棟間のカーポートを利用してちまき作り等のホームのイベントを実施したり、ウッドデッキでの日光浴等、お気に入りの場所で居心地良く過ごせるよう工夫されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用スペースにはソファやベンチ、テーブルが配置してあり、座席も気の合う方と近くに座れる様に配慮しており、利用者様も自分の居場所であると認識されている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>仏壇や写真等その方にとって大切な品を自宅から持ち込んで頂き、居室が居心地もよい場所と感じてもらえるよう、ご本人、ご家族、職員がみんなで協力している。</p>	<p>電動ベッドとタンスを備えた居室に、本人の好みや必要に応じてテレビや仏壇を持ち込んだり家族の写真等を飾ったりしている。ドアに名札や好きな花などの目印になるようなものが飾られ、本人が落ち着いて過ごせるように配慮されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>グループホーム内はバリアフリー化され、段差の解消や転倒防止のための手すりが多数設置され、安全に歩行できるように配慮されている。また、ご自分の居室が分からなくなるように名札を貼ったり、目立ちやすい花や人形等を目印にされている方もおられる。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない